

事務事業調書（通常評価事業 事後評価）

事務事業名	地域自殺対策緊急強化対策事業			事業開始年度	平成22年度		
担当課	健康福祉部 福祉課		担当者	岡本尚大			
■事業の執行計画【計画（Plan）】							
総合計画体系	政策	02	福祉の充実と安心の社会保障				
	施策	01	助け合いと支え合いの地域福祉				
	基本事業	01	地域福祉の理解促進				
事業の目的	「誰も自殺に追い込まれることのない社会」の実現を目指して、自殺対策を総合的に推進し、自殺者の減少を図ることを目的とする。						
事業の概要	自殺対策の普及啓発活動として、市民を対象とした講演や啓発用品の配布を実施する。						
■事業実施結果【実施（Do）】							
事業費の推移	年度	1年度		2年度		3年度	
	実績/当初予算	実績		実績		当初	
	総事業費	402		223		355	
■前年度の事業分析【評価（Check）】							
指標の推移	指標区分	指標名称	単位	1年度 実績	2年度 実績	3年度 計画	4年度 計画
	活動	自殺者数	人	9	16	8	4
	活動	ゲートキーパー養成研修受講者数	人	71	70	40	40
達成度の評価と説明	評価	○達成、概ね達成した ●多少は達成した ○達成できず					
	説明	ゲートキーパー養成研修及び自殺予防対策に係る研修会等を通じて、市民に自殺対策の知識の普及啓発を行ったが、自殺者数の抑制には繋がらなかった。全国的にコロナ禍での自殺者数は増加しており、さくら市においても例外ではないと考えられる。					
見直し余地	判定	●数年内に見直し可能 ○余地はあるがまだ時間が必要 ○余地なし					
■将来方向性【改善（Action）】							
事業の方向性	○見直し継続 ●現状どおり継続 ○廃止・完了						
資源方向性	予算額	○拡大 ●現状 ○縮小		業務量	●拡大 ○現状 ○縮小		

事務事業調書（通常評価事業 事後評価）

事務事業名	福祉まつり補助事業			事業開始年度	平成17年度		
担当課	健康福祉部 福祉課		担当者	大東由枝			
■事業の執行計画【計画（Plan）】							
総合計画体系	政策	02	福祉の充実と安心の社会保障				
	施策	01	助け合いと支え合いの地域福祉				
	基本事業	01	地域福祉の理解促進				
事業の目的	地域福祉の祭典「福祉まつり」を開催し、市全体が福祉について考え、体験し、お互いに触れ合う場を提供する。						
事業の概要	さくら市福祉まつり実行委員会を運営するさくら市社会福祉協議会に補助金を支出し、事業運営を支援する。						
■事業実施結果【実施（Do）】							
事業費の推移	年度	1年度		2年度		3年度	
	実績/当初予算	実績		実績		当初	
	総事業費	1,234		0		950	
■前年度の事業分析【評価（Check）】							
指標の推移	指標区分	指標名称	単位	1年度 実績	2年度 実績	3年度 計画	4年度 計画
	活動	福祉まつり参加団体数	団体	77	0	0	78
達成度の評価と説明	評価	○達成、概ね達成した ○多少は達成した ●達成できず					
	説明	これまでの集合形式による開催方法のみならず、アフターコロナを見据えた開催方法の検討が必要。					
見直し余地	判定	●数年内に見直し可能 ○余地はあるがまだ時間が必要 ○余地なし					
■将来方向性【改善（Action）】							
事業の方向性	○見直し継続 ●現状どおり継続 ○廃止・完了						
資源方向性	予算額	○拡大 ○現状 ●縮小		業務量	○拡大 ●現状 ○縮小		

事務事業調査（通常評価事業 事後評価）

事務事業名	さくら市社会福祉協議会補助事業			事業開始年度	平成17年度		
担当課	健康福祉部 福祉課		担当者	君島成美			
■事業の執行計画【計画（Plan）】							
総合計画体系	政策	02	福祉の充実と安心の社会保障				
	施策	01	助け合いと支え合いの地域福祉				
	基本事業	01	地域福祉の理解促進				
事業の目的	社会福祉協議会の活動に賛同する方が増加し、市民主体による自主運営比率が高まる。						
事業の概要	社会福祉施設整備費・運営費補助金として、運営費（人件費）に対して補助金を交付する。						
■事業実施結果【実施（Do）】							
事業費の推移	年度	1年度		2年度		3年度	
	実績/当初予算	実績		実績		当初	
	総事業費	29,585		32,209		34,060	
■前年度の事業分析【評価（Check）】							
指標の推移	指標区分	指標名称	単位	1年度 実績	2年度 実績	3年度 計画	4年度 計画
	成果	社会福祉協議会の自主運営比率	%	80.35	75.76	78.65	未定
達成度の評価と説明	評価	○達成、概ね達成した ●多少は達成した ○達成できず					
	説明	自主運営比率が令和元年度と比較して4.59ポイント減少した。平成28年度から減少傾向にあるため、自主運営の強化に向けて協議する。					
見直し余地	判定	○数年内に見直し可能 ●余地はあるがまだ時間が必要 ○余地なし					
■将来方向性【改善（Action）】							
事業の方向性	○見直し継続 ●現状どおり継続 ○廃止・完了						
資源方向性	予算額	○拡大 ●現状 ○縮小		業務量	○拡大 ●現状 ○縮小		

事務事業調書（通常評価事業 事後評価）

事務事業名	喜連川社会福祉センター管理業務			事業開始年度	平成18年度		
担当課	健康福祉部 福祉課		担当者	君島成美			
■事業の執行計画【計画（Plan）】							
総合計画体系	政策	02	福祉の充実と安心の社会保障				
	施策	01	助け合いと支え合いの地域福祉				
	基本事業	01	地域福祉の理解促進				
事業の目的	高齢者等への健康の増進、教養の向上や各種福祉相談など、幅広く社会福祉事業を市民が利用することができ、福祉の向上が図られる。						
事業の概要	指定管理者制度を導入し、社会福祉法人さくら市社会福祉協議会に施設管理及び事業の実施を委託している。						
■事業実施結果【実施（Do）】							
事業費の推移	年度	1年度		2年度		3年度	
	実績/当初予算	実績		実績		当初	
	総事業費	1,985		1,985		1,985	
■前年度の事業分析【評価（Check）】							
指標の推移	指標区分	指標名称	単位	1年度 実績	2年度 実績	3年度 計画	4年度 計画
	活動	年間施設利用者延べ人数	人	2,049	995	2,200	2,200
達成度の評価と説明	評価	○達成、概ね達成した ●多少は達成した ○達成できず					
	説明	新型コロナウイルス感染症の流行により、令和2年4月20日から5月17日の期間を施設利用休止とし、利用条件を付して5月18日から再開したものの、市民の感染防止意識が徹底され、教室利用者の2/3、施設利用者の1/2が例年比減となる結果であった。					
見直し余地	判定	○数年内に見直し可能 ○余地はあるがまだ時間が必要 ●余地なし					
■将来方向性【改善（Action）】							
事業の方向性	○見直し継続 ●現状どおり継続 ○廃止・完了						
資源方向性	予算額	○拡大 ●現状 ○縮小		業務量	○拡大 ○現状 ●縮小		

事務事業調書（通常評価事業 事後評価）

事務事業名	障がい者施設等検査費用助成事業			事業開始年度	令和 2年度		
担当課	健康福祉部 福祉課		担当者	堀口 耕平			
■事業の執行計画【計画（Plan）】							
総合計画体系	政策	02	福祉の充実と安心の社会保障				
	施策	01	助け合いと支え合いの地域福祉				
	基本事業	01	地域福祉の理解促進				
事業の目的	障害者施設等において新型コロナウイルス感染症対策を徹底して、施設利用者への安全なサービス等の提供を継続することを目的とする。						
事業の概要	さくら市内に所在する障害者施設等に勤務する方に対する、R2.2/1～R3.10/31に実施されたPCR検査又は抗原定量検査について、検査費用の助成をする。						
■事業実施結果【実施（Do）】							
事業費の推移	年度	1年度		2年度		3年度	
	実績/当初予算	実績		実績		当初	
	総事業費	0		169		0	
■前年度の事業分析【評価（Check）】							
指標の推移	指標区分	指標名称	単位	1年度 実績	2年度 実績	3年度 計画	4年度 計画
	成果	助成申請件数	件		11		
達成度の評価と説明	評価	○達成、概ね達成した ○多少は達成した ●達成できず					
	説明	令和2年度途中に要綱制定をしたため、実施期間が短く、申請件数が見込より少なかった。その為、翌年度へ事業費を繰越し、申請を受付することで、目標達成につなげていく。					
見直し余地	判定	○数年内に見直し可能 ○余地はあるがまだ時間が必要 ●余地なし					
■将来方向性【改善（Action）】							
事業の方向性	○見直し継続 ●現状どおり継続 ○廃止・完了						
資源方向性	予算額	○拡大 ●現状 ○縮小		業務量	○拡大 ●現状 ○縮小		

事務事業調書（通常評価事業 事後評価）

事務事業名	民生委員事業			事業開始年度	平成17年度		
担当課	健康福祉部 福祉課		担当者	岡本尚大			
■事業の執行計画【計画（Plan）】							
総合計画体系	政策	02	福祉の充実と安心の社会保障				
	施策	01	助け合いと支え合いの地域福祉				
	基本事業	02	地域福祉活動の推進				
事業の目的	民生委員児童委員研修会等に参加し、民生委員としての知識が高まり能力が向上する。						
事業の概要	民生委員児童委員協議会が行う事業（研修会等）に対し助成金を交付する。						
■事業実施結果【実施（Do）】							
事業費の推移	年度	1年度		2年度		3年度	
	実績/当初予算	実績		実績		当初	
	総事業費	7,188		7,573		7,989	
■前年度の事業分析【評価（Check）】							
指標の推移	指標区分	指標名称	単位	1年度 実績	2年度 実績	3年度 計画	4年度 計画
	活動	活動日数	日	7,309	5,762	7,400	7,400
達成度の評価と説明	評価	○達成、概ね達成した ●多少は達成した ○達成できず					
	説明	新型コロナの影響により、中止となった定例会・研修会が多かったが、今後もイベントの参加による地域連携、福祉ニーズの多様化に伴う知識を養うため定例会・研修会を開催し、民生委員に求められる地域での役割を果たしたい。					
見直し余地	判定	○数年内に見直し可能 ○余地はあるがまだ時間が必要 ●余地なし					
■将来方向性【改善（Action）】							
事業の方向性	○見直し継続 ●現状どおり継続 ○廃止・完了						
資源方向性	予算額	○拡大 ●現状 ○縮小		業務量	●拡大 ○現状 ○縮小		

事務事業調書（通常評価事業 事後評価）

事務事業名	高額療養費貸付事業			事業開始年度	平成17年度		
担当課	健康福祉部 福祉課		担当者	大東由枝			
■事業の執行計画【計画（Plan）】							
総合計画体系	政策	02	福祉の充実と安心の社会保障				
	施策	01	助け合いと支え合いの地域福祉				
	基本事業	02	地域福祉活動の推進				
事業の目的	高額療養費の一時負担が困難な者に対し、必要な資金を貸し付けることにより、被保険者の生活の安定と福祉の推進を図る。						
事業の概要	高額療養費の一時負担が困難な市民に対し、高額医療費の返還分を担保に貸付を行うことで、適切な医療が受けられるよう支援する。						
■事業実施結果【実施（Do）】							
事業費の推移	年度	1年度		2年度		3年度	
	実績/当初予算	実績		実績		当初	
	総事業費	0		0		0	
■前年度の事業分析【評価（Check）】							
指標の推移	指標区分	指標名称	単位	1年度実績	2年度実績	3年度計画	4年度計画
	活動	貸付件数	件	0	0		
達成度の評価と説明	評価	●達成、概ね達成した ○多少は達成した ○達成できず					
	説明	高額療養費の現物給付化（限度額適用認定証）について、平成24年4月以降、入院診療に加え外来診療も対象となるなど、本事業の代替の制度は整備されており、当該事業の利用者が減少したため、令和2年度をもって事業を廃止する。					
見直し余地	判定	●数年内に見直し可能 ○余地はあるがまだ時間が必要 ○余地なし					
■将来方向性【改善（Action）】							
事業の方向性	○見直し継続 ○現状どおり継続 ●廃止・完了						
資源方向性	予算額	○拡大 ○現状 ●縮小		業務量	○拡大 ○現状 ●縮小		

事務事業調書（通常評価事業 事後評価）

事務事業名	災害被災者扶助事業			事業開始年度	平成17年度		
担当課	健康福祉部 福祉課		担当者	大東由枝			
■事業の執行計画【計画（Plan）】							
総合計画体系	政策	02	福祉の充実と安心の社会保障				
	施策	01	助け合いと支え合いの地域福祉				
	基本事業	02	地域福祉活動の推進				
事業の目的	火災・風水害等により、住家の全焼又は全壊、流失等の被害を受けたときに、災害罹災者見舞金を支給することで、復興意欲の振起を図る。						
事業の概要	火災・風水害等の被災者に、見舞金を支給する。						
■事業実施結果【実施（Do）】							
事業費の推移	年度	1年度		2年度		3年度	
	実績/当初予算	実績		実績		当初	
	総事業費	70		180		150	
■前年度の事業分析【評価（Check）】							
指標の推移	指標区分	指標名称	単位	1年度 実績	2年度 実績	3年度 計画	4年度 計画
	活動	見舞金支給件数	件	2	4	3	3
達成度の評価と説明	評価	●達成、概ね達成した ○多少は達成した ○達成できず					
	説明	被災者の生活を支援することにより、生活再建を支えることは、地域福祉の推進に貢献している。					
見直し余地	判定	○数年内に見直し可能 ○余地はあるがまだ時間が必要 ●余地なし					
■将来方向性【改善（Action）】							
事業の方向性	○見直し継続 ●現状どおり継続 ○廃止・完了						
資源方向性	予算額	○拡大 ●現状 ○縮小		業務量	○拡大 ●現状 ○縮小		

事務事業調書（通常評価事業 事後評価）

事務事業名	さくら市保護司会補助事業			事業開始年度	平成17年度		
担当課	健康福祉部 福祉課		担当者	岡本尚大			
■事業の執行計画【計画（Plan）】							
総合計画体系	政策	02	福祉の充実と安心の社会保障				
	施策	01	助け合いと支え合いの地域福祉				
	基本事業	02	地域福祉活動の推進				
事業の目的	犯罪をした者の改善及び更生を助け、犯罪予防のための啓発活動を行っている塩谷保護区保護司会さくら支部の活動を支援する。						
事業の概要	塩谷保護区保護司会さくら支部に補助金を交付し、保護司の活動を支援する。						
■事業実施結果【実施（Do）】							
事業費の推移	年度	1年度		2年度		3年度	
	実績/当初予算	実績		実績		当初	
	総事業費	74		74		0	
■前年度の事業分析【評価（Check）】							
指標の推移	指標区分	指標名称	単位	1年度 実績	2年度 実績	3年度 計画	4年度 計画
	活動	活動回数	回	47	25	0	0
達成度の評価と説明	評価	●達成、概ね達成した ○多少は達成した ○達成できず					
	説明	新型コロナの影響により活動回数は減少したものの、罪を犯した者の更生や社会復帰の支援、犯罪の予防活動を行う保護司会の活動は、地域福祉の推進に貢献している。					
見直し余地	判定	○数年内に見直し可能 ○余地はあるがまだ時間が必要 ●余地なし					
■将来方向性【改善（Action）】							
事業の方向性	○見直し継続 ○現状どおり継続 ●廃止・完了						
資源方向性	予算額	○拡大 ●現状 ○縮小		業務量	●拡大 ○現状 ○縮小		

事務事業調書（通常評価事業 事後評価）

事務事業名	さくら市更生保護女性会補助事業			事業開始年度	平成17年度		
担当課	健康福祉部 福祉課		担当者	岡本尚大			
■事業の執行計画【計画（Plan）】							
総合計画体系	政策	02	福祉の充実と安心の社会保障				
	施策	01	助け合いと支え合いの地域福祉				
	基本事業	02	地域福祉活動の推進				
事業の目的	女性の立場から、犯罪や非行のない明るい社会の実現のために活動しているさくら市更生保護女性会の活動を支援する。						
事業の概要	さくら市更生保護女性会に補助金を交付し、活動を支援する。						
■事業実施結果【実施（Do）】							
事業費の推移	年度	1年度		2年度		3年度	
	実績/当初予算	実績		実績		当初	
	総事業費	50		50		0	
■前年度の事業分析【評価（Check）】							
指標の推移	指標区分	指標名称	単位	1年度 実績	2年度 実績	3年度 計画	4年度 計画
	活動	活動回数	回	82	28	0	0
達成度の評価と説明	評価	●達成、概ね達成した ○多少は達成した ○達成できず					
	説明	新型コロナウイルスの影響により活動回数が減少したものの、地域ボランティアとして更生保護思想の普及啓発や青少年健全育成活動を行っており、公益性が高く、地域福祉の推進に貢献している。					
見直し余地	判定	○数年内に見直し可能 ○余地はあるがまだ時間が必要 ●余地なし					
■将来方向性【改善（Action）】							
事業の方向性	○見直し継続 ○現状どおり継続 ●廃止・完了						
資源方向性	予算額	○拡大 ●現状 ○縮小		業務量	●拡大 ○現状 ○縮小		

事務事業調書（通常評価事業 事後評価）

事務事業名	さくら市遺族会補助事業			事業開始年度	平成17年度		
担当課	健康福祉部 福祉課		担当者	君島成美			
■事業の執行計画【計画（Plan）】							
総合計画体系	政策	02	福祉の充実と安心の社会保障				
	施策	01	助け合いと支え合いの地域福祉				
	基本事業	02	地域福祉活動の推進				
事業の目的	遺族会の各種事業（戦没者合同慰霊祭等）・研修等を通し、会員の親睦と交流を深め、会の発展と遺族の福祉向上を図る。						
事業の概要	市健康福祉事業補助金交付要綱に基づき、事業内容を審査し、団体運営費に対し補助金を交付する。						
■事業実施結果【実施（Do）】							
事業費の推移	年度	1年度		2年度		3年度	
	実績/当初予算	実績		実績		当初	
	総事業費	213		213		213	
■前年度の事業分析【評価（Check）】							
指標の推移	指標区分	指標名称	単位	1年度 実績	2年度 実績	3年度 計画	4年度 計画
	活動	各種事業参加延べ人数	人	207	38	230	230
達成度の評価と説明	評価	○達成、概ね達成した ●多少は達成した ○達成できず					
	説明	新型コロナウイルス感染症流行の影響を受け、参加準備をしていた国県主催の事業中止がなされ一部活動が縮小となってしまったが、本会理念の継承のため、事業内容を工夫して企画し、安全に可能な範囲での活動を実施した。					
見直し余地	判定	○数年内に見直し可能 ●余地はあるがまだ時間が必要 ○余地なし					
■将来方向性【改善（Action）】							
事業の方向性	○見直し継続 ●現状どおり継続 ○廃止・完了						
資源方向性	予算額	○拡大 ●現状 ○縮小		業務量	○拡大 ●現状 ○縮小		

事務事業調書（通常評価事業 事後評価）

事務事業名	見守り福祉ネットワーク推進事業			事業開始年度	平成25年度		
担当課	健康福祉部 高齢課		担当者	西 重幸			
■事業の執行計画【計画（Plan）】							
総合計画体系	政策	02	福祉の充実と安心の社会保障				
	施策	01	助け合いと支え合いの地域福祉				
	基本事業	03	見守り活動の推進				
事業の目的	要援護者が安全かつ安心して生活できる						
事業の概要	見守り協定を締結した協力事業所等が市と連携し、要援護者を見守り、異変の早期発見と迅速な対応を図ることにより、安全かつ安心して生活できる環境の構築を図る。						
■事業実施結果【実施（Do）】							
事業費の推移	年度	1年度		2年度		3年度	
	実績/当初予算	実績		実績		当初	
	総事業費	2,273		471		532	
■前年度の事業分析【評価（Check）】							
指標の推移	指標区分	指標名称	単位	1年度 実績	2年度 実績	3年度 計画	4年度 計画
	活動	見守りに関する協定件数	件	31	32		
	活動	災害時避難行動要支援者名簿掲載同意者数	件	1,349	1,541		
達成度の評価と説明	評価	●達成、概ね達成した ○多少は達成した ○達成できず					
	説明	見守りの体制が整備され、日常生活を送るうえで支援を必要とする方が、安全かつ安心して生活できる環境が維持できている。					
見直し余地	判定	○数年内に見直し可能 ●余地はあるがまだ時間が必要 ○余地なし					
■将来方向性【改善（Action）】							
事業の方向性	○見直し継続 ●現状どおり継続 ○廃止・完了						
資源方向性	予算額	○拡大 ●現状 ○縮小		業務量	○拡大 ●現状 ○縮小		

事務事業調書（通常評価事業 事後評価）

事務事業名	心配ごと相談事業			事業開始年度	平成27年度		
担当課	健康福祉部 福祉課		担当者	大東由枝			
■事業の執行計画【計画（Plan）】							
総合計画体系	政策	02	福祉の充実と安心の社会保障				
	施策	01	助け合いと支え合いの地域福祉				
	基本事業	99	総合事業				
事業の目的	市民のあらゆる相談に応じる窓口があり、市民が安心して生活を送ることができる。						
事業の概要	毎月1回心配ごと相談を行い、生活上の悩み事全般の相談を受ける（さくら市社会福祉協議会への委託事業）。						
■事業実施結果【実施（Do）】							
事業費の推移	年度	1年度		2年度		3年度	
	実績/当初予算	実績		実績		当初	
	総事業費	189		150		196	
■前年度の事業分析【評価（Check）】							
指標の推移	指標区分	指標名称	単位	1年度 実績	2年度 実績	3年度 計画	4年度 計画
	活動	相談者数	人	8	7	10	10
達成度の評価と説明	評価	○達成、概ね達成した ●多少は達成した ○達成できず					
	説明	相談者は7組、14件。令和元年度に続き、新型コロナウイルスの影響により4~6月の3回中止となったが、事業実施について市広報紙やホームページを活用し、市民への周知促進に努めた。					
見直し余地	判定	●数年内に見直し可能 ○余地はあるがまだ時間が必要 ○余地なし					
■将来方向性【改善（Action）】							
事業の方向性	○見直し継続 ●現状どおり継続 ○廃止・完了						
資源方向性	予算額	○拡大 ○現状 ●縮小		業務量	○拡大 ●現状 ○縮小		